

認定 NPO 法人カタリバ（東京都）

子どもの学習・生活支援事業による居場所作りと多様な人の参画支援

1. 基本情報

①自治体・団体名	認定特定非営利活動法人カタリバ
②住所等	〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 3-66-3 高円寺コモンズ 2F
③圏域の人口、高齢化率	（足立区） 人口：693,183 人（令和 6 年 2 月現在） 高齢化率：約 25 %
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	居場所を兼ねた学習支援事業（受託）2 施設
⑤主な事業・活動（④以外）	・ 探究学習の推進や校則見直し等の学校・地域をフィールドとした新たな学びの形を作り、推進していく事業 ・ 被災地や災害の影響を受けた家庭・子どもへの居場所づくりや行政協働を通じた支援を届ける事業 ・ 教育資源に偏りがある地方部・島しょ部の子どもや、経済的困窮、不登校、ヤングケアラー、外国にルーツを持つ子どもなどの、困難・不利な状況にある子どもたちへの教育支援 ・ 学校内外に居場所・サードプレイス・ユースセンターを作り運営する事業 ・ ユースセンターを全国に広め、立ち上げと拡大を支援する事業

2. 取り組みの経緯・背景

東京都足立区における「子どもの貧困対策実施計画」に基づき、中高生の放課後の居場所として平成 27 年度から事業が始まった。事業実施前の調査（上記実施計画に詳細は記載）によれば、足立区は東京 23 区の中でも子どもを取り巻く環境が厳しい状況にある。そのため、家庭の経済的困窮やひとり親家庭の中高生などを対象に、学習・生活支援事業として「居場所を兼ねた学習支援事業」を実施している。弊団体では、平成 29 年度より事業を受託し、同区内にて 2 ヶ所の居場所施設を運営。

3. 取り組み概要・実施体制

- ・ 中高生を対象に、区内で 2 ヶ所の居場所施設を、週 6 日間運営
- ・ 現時点での定員数は 2 施設合わせて 190 名（中高生対象）
- ・ 利用登録は足立区が行い、紹介を受けた中高生が利用している
- ・ 施設内に、フリースペース（居場所スペース）、キッチン、自習室スペース、学習クラススペースを構えている
- ・ 子どもたちが将来、社会の中で自立的に生きていくことができる状態を目指して、ロジックモデルを組み、各プログラムの中に定量、定性での目標を持ちながら運営を行っている

テーマ別研修（生活困窮者支援における子どもと家族支援）
「子どもの学習・生活支援事業による居場所づくりと多様な人の参加支援」

- ・主な取り組みとして、中高生向けの学習支援、食事支援、体験支援、リテラシー（テーマ：キャリア、性、マネー）、プロジェクト型学習支援を実施
- ・運営者は弊団体の職員、および学生インターン、学習ボランティア、調理ボランティアがおり、1日あたり約8-10名程度のスタッフが在館している
- ・中高生や家庭の状況に応じて、学校、区の福祉部（生活保護や生活・就労相談等）、教育委員会（SSW、不登校対策、虐待対策等）、児童相談所、警察、地域のこども食堂、パントリー実施団体などと幅広く連携し包括的に支援が行われるよう情報提供や方針検討を実施している

4. 成果や課題、今後の展開

■成果

- ・中学校、高校の卒業段階で、第一希望の進路に進むことができた中高生の割合を一定程度まで高めることができている、学校や保護者と連携して卒業後の自立につながるサポートが展開できている
- ・高リスクな家庭、中高生に対しては早期に関係機関、専門機関と連携することで、虐待をはじめとした大きなインシデントが発生する前に対処できているケースが複数ある
- ・子どもたちの将来にとって必要な経験や成長機会を、施設内で完結させるのではなく、積極的に施設外でもチャレンジできるような仕組みを整えており、地域でのボランティア活動や就業体験などを推進したことで、アルバイトを怖がらなくなったり、面接で受かるようになったケースが増えてきている

■課題と今後の展開

- ・区内の中高生の利用ニーズは依然として高いため、何らかの形で事業のキャパシティを高めることが求められている
- ・中退、転学を減らすべく、中学のみならず、より高等学校とも深く連携した支援を届ける必要性がある
- ・卒業（事業利用終了）後に、大学、専門学校を中退してしまったり、非正規雇用の状態で卒業してしまい、再び連絡が来るケースがある。卒業後の適切な相談先を見つけ、頼る力や、自身で状況を改善していく力を育むため、事業としてできることを模索し続けていきたい

